

駐輪場の整備を求めろ！

市内各駅の駐輪場について



は、敷地内駐車で、駐輪場としては未整備である。

議員

北水海道駅にも屋根付き駐車場があるが、バラバラに止めてあり、中には放置自転車も何台かあると聞いている。守谷、水海道駅の屋根付き駐車場は有料であるが、学割が適用されている。駐輪場を利用するのは、ほとんどが学生であるため、降雨時、風が吹いた日は非常にかわいそうである。場所の提供がなれないとできないが、安い料金で長時間利用できる駐輪場の整備について分かる範囲で答弁を求めろ。

都市建設部長

有料の駐輪場を設けている水海道駅、石下駅前自転車預り所を除いて、南石下駅には屋根をつける方向で検討し、未整備の駐車場は、関東鉄道に対し、要望や駐輪場整備の実現に向けて今後も協議を進める。

議員

自転車ロックでき、いたずらされない、盗まれない、防犯上も考えて安心して学生も学校に行けるのが大前提。有料で結構なので、収益や市の補助金などを踏まえ、関東鉄道と話し合い、検討をお願いしたい。

議員

市内各駅における駐輪場の整備状況を尋ねる。

都市建設部長

関東鉄道の駅は、市内に7カ所。うち、市で管理している市有地、いわゆる駅前広場については3カ所ある。整備状況は、北水海道駅前の雨よけの屋根を設けた駐輪場1カ所、南石下駅前は区画線による駐輪場スペース1カ所、水海道駅の関東鉄道敷地内に有料駐輪場2カ所である。駅前広場のない玉村駅、石下駅、三妻駅、中妻駅について

各分野の課題と展望は

常総市の今後の展望と各種シミュレーションについて



達成のための方針を掲げ、実現に向けた事務事業を行い、市民サービスの向上に努めている。

具体的には、常総市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略における将来の人口の推計を行い、人口の変化が地域の将来に与える影響を分析しながら課題解決に向け、進めている。

また、各種計画に基づいて予算化されている事務事業は行政評価システムを導入し、評価後次の計画に反映させている。

議員

市民のみなさんが希望を持ち、明るい展望を持った常総市を築いていくには予算がないと事業の見直しもできない。いろいろな勉強会などを実施していると思うが、何とか調査、検討してもらい、ますます明るい常総市になるよう市民のみなさんは期待しているので頑張ってもらいたい。市長からもお願いする。

市長

事業評価も何のために予算をかけているのかも含めて、しっかりと部内、課内でよく話し合い、方向性を見定め、市民に説明できるように指導している。

議員

自分も考えるところがあり、市民の声も聞いている。

総務部長

市が策定する各種計画は、まず現状と課題を整理し、解決するためには方向性や目的を定め、

議員

常総市の諸課題に取り組むためには、当然様々な角度から統計やデータを集めたり、アンケートなどの取り組み、また想定されるシミュレーションなどを行っているとと思うが、どのようなものがあるか。とりわけ安心・安全のまち常総市を目指して、現在行っている取り組みはどのようなものがあるか。